

事件から数ヶ月のち、4人の元に天泣から手紙が届いた。

“

皆様いかがお過ごしでしょうか？

どんな場所でも意外と

うまくやっていける性分なのか、自分は元気です

かんしされつづけるのは、あまり心地良くはないけれど。

しょうこがはっきりしないまま逮捕されたとはいえ

あの時自分が行くことになって良かったと思っています。

わるいことばかりの世の中じゃ無いんだと

せかいには希望も沢山あるのだと信じてほしい

にっこりと…皆どうか、雨が降る時にこそ笑って生きて下さい。

”

証拠不足であったが動機が重視され逮捕。

いつ解放されるか分からない中、獄中の天泣は雨に笑った。

あめかんむり 雨に笑う

—end—

produced by kanata-W